

学校教育目標		豊かな心を持ち、将来に向かって、たくましく生きる生徒の育成		重点目標		1年 中学校生活の意義を理解し、3年間の生活に見通しを持つことができる生徒の育成。 2年 先生たちに自らの考えを素直に表現できる生徒の育成。 3年 生徒たちの前で自らの考えをわかりやすく表現できる生徒の育成。								
評価計画						自己評価		改善計画		学校関係者評価				
重点目標	重点目標	目標達成のための具体的方策	成果指標(目指す生徒の姿)		取組指標(具体的な教師の取組み)		評価	結果(成果と課題)		次年度における改善策(案)		コメント		
			『市学校生活アンケート』『学習意欲』学校平均が0.5以上である。(現状0.4)		『生徒授業アンケート』『めあてがわかりやすい・わかってうれしかったことがある・授業がわかりやすい』と回答した生徒が、95%以上である。(現状90%)			3		※「めあてがわかりやすい;91%」現状維持。「学習意欲;0.3」1学期より下回る。 ○基本事項を重点的に指導することで、理解力は高まった。 ○合格ラインを明確に示すことで、努力する意欲を高められた。 ●学力格差が大きい実態に対して有効な手立てが打てていない。			A	
			『生徒授業アンケート』『自分の意見や考えを発表する場面がある』と回答した生徒が、80%以上である。(現状78%)		●校内研修の全員授業を通して、「既習の知識・技能を活用する授業」の指導案を作成し、実施する。 ●全ての生徒に自己存在感を持たせるために、自らの考えを発表する場面を設定する。			3		※「自分の意見や考えを発表する場面がある;73%」1学期より下回る。 ○スピーチは表現する喜びを味わわせるとともに、興味深く聞かせることができた。 ●発表の場をうまく設定できなかつた。			A	
			『家庭生活アンケート』『自分で計画を立てて勉強している』と回答した生徒が、55%以上である。(現状51%)		●全学年で自学ノートを実施し、家庭学習の習慣を身につけさせる。 ●1年生では、学習応援ガイド「教科編」を活用し、学習方法を学ばせる。			3		※『家庭生活アンケート』『自分で計画を立てて勉強している』と回答した生徒は49%と1学期より下回った。 ○自学ノートの取組は、全体的に見れば定着している。 ○自学ノートについて、80%の生徒は、よく頑張り成果も現れた。 ●自学ノートの提出率が悪く、内容も浅いという生徒も一部に見られた。			A	
生徒一人ひとりを大切にする	生徒一人ひとりを大切にする	生徒一人ひとりを大切にする	『市学校生活アンケート』『自己概念』学校平均が0.5以上である。(現状0.4)		●「中学生活と進路」を活用して、中学校の学習と将来の生き方についての授業を実践する。 ●達成感や充実感を味わわせるような体験活動や課題解決に取り組ませる。 ●学級における日直や係活動を通して、存在感を味わわせる。		3	※『生徒学校生活アンケート』『さまざまな体験活動があり、充実感や満足感を味わえる』と回答した生徒は83%、自己概念0.3と、1学期より下回った。 ○「中学生活と進路」により、学活の計画、内容は充実していた。 ●担任がもう少し力を入れて活用すべきだ。 ●「中学生活と進路」は、実情にあっていないところがあった。		A				
			『生徒学校生活アンケート』『さまざまな体験活動があり、充実感や満足感を味わえる』と回答した生徒が、90%以上である。(現状86%)		●生徒会役員への指導・助言を丁寧に行い、生徒会活動の活性化を図る。 ●生徒に達成感を味わわせるため、負荷の多い学校行事にも、生徒自らが主体的に粘り強く取り組む工夫をする。			3		○学校行事は、生徒中心に行うことができた。 ●生徒会の常時活動や行事に対して、前例を踏襲することどまっているところがある。 ●生徒会役員への指導が不十分だった。		A		
			『生徒学校生活アンケート』『いじめや暴力がなく、安心して生活できる学校だと思う・教育相談や面談など、先生に相談できる機会がある』と回答した生徒が80%以上である。(現状78%)		●生徒一人ひとりと真剣に向き合い、生徒の悩みや相談も親身になって受け止める。 ●生徒同士の結びつきを大切にするため、学級の中で「自らを表現する」活動を仕組む。(3分間スピーチ、班ノートなど)			2		※『生徒学校生活アンケート』『いじめや暴力がなく、安心して生活できる学校だと思う・教育相談や面談など、先生に相談できる機会がある』と回答した生徒は74%と1学期より下回った。 ○家庭生活に不安を抱えた生徒が多く、声をかけて安心・安全を確認した。 ●生徒が悩みを打ち明けるまでの関係づくりができなかつた。		B		
生徒一人ひとりを大切にする	生徒一人ひとりを大切にする	生徒一人ひとりを大切にする	『生徒学校生活アンケート』『いじめや暴力がなく、安心して生活できる学校だと思う・教育相談や面談など、先生に相談できる機会がある』と回答した生徒が80%以上である。(現状78%)		●生徒指導委員会(いじめ・不登校対策委員会)での情報交換を行い、生徒の発するサインや兆候を見逃さない体制を作る。 ●生活アンケートや教育相談を実施し、生徒理解・実態把握を行う。		3	○生徒のわずかな変化も見逃さないよう情報交換を行った。 ○生活アンケートの結果を参考に、学校生活の様子を見守り、生徒の実態を把握した。 ○生徒指導委員会を中心に、よく機能している。 ●学年間の情報交換が不十分だった。		A				
			自己評価		4:目標達成(90%以上)			3:ほぼ達成(70~90%)		2:もう少し(60~70%)		1:できていない(60%未満)		
学校関係者評価		A:自己評価は適切である		B:自己評価はほぼ適切である		C:自己評価はあまり適切でない		D:自己評価は不適切である						